



平成26年採用

梶原 佑利子

(新千歳空港事務所総務部総務課勤務)

私は平成26年10月に新千歳空港事務所総務課、給与・人事厚生担当係員として採用されました。業務内容は、各種手当（通勤のための交通費や家族を養うための費用など）の認定や、給与支給額の決定や、退職金にかかる税金の計算など「お給料」に関する仕事と、病気・怪我の給付金の申請など「厚生」に関する仕事を行っています。

この業務の楽しいところは、事務所の内外を問わず多くの方々と知り合えるところです。様々な課の職員から質問が来ます。その中に難しい案件があれば他の事務所などにも相談します。また、職員の人事異動がある場合には、転入元や転出先の給与担当の方々とやりとりをします。同期の職員や、まだお会いしたことのない先輩方とも接する機会の多い人事厚生担当係員は、とても良いポジションです。

職場環境も、とても良いです。風通しの良く、窓の多い職場です。空港周辺には高い建物が無く、職場からの景色も素晴らしいです。空港長から美味しいラーメン屋さんを教えてもらえるなど、階級に捕らわれないコミュニケーションがここには存在します。技術系の職員も多く、仕事で残っていることがあると、心配して声をかけていただける事もあります。事務官だけではなく、技官との人間関係も築くことができます。

私はまだ転勤を経験していませんが、「転勤は、長い時間をかけて日本を旅行しているようなものだ」と教えてくれた方がいました。まさしく、その通りなのだろうと思っています。

す。交通費の支給されるロングステイといった感覚を持てば、恐れることなどないでしょう。転勤に対して不安に思う気持ちはありますが、航空局は魅力的な仕事が多いので、それと同じだけの期待やワクワク感もあります。きっと皆さんも「少し怖い、けれど新しいことに挑戦してみたい！」と思えるのではないのでしょうか。

東京航空局の存在は、面接まで知りませんでした。飛行機に乗るような旅行もほとんど経験が無く、空港と私の接点は皆無と言える状態でした。それが採用後、空港で滑走路から飛び立つ飛行機を見た時、「航空に関する仕事をする職場にいる」というだけでも関わらず、何とも誇らしい気持ちになりました。飛び立つ飛行機を眺めてこんな気持ちになるなんて、今まで思いもしませんでした。皆さんも私たちと一緒に働いて、今までとはひと味違った気持ちで窓から外を眺めてみませんか。今までとはひと味もふた味も違った景色がそこにあるはずです。

